

報道関係各位

平成22年4月21日
ナビピットコム株式会社

3G対応中国携帯電話の普及を契機に、
日本と中国をつなぐグローバル・ロジスティック体制を強力にサポート
ナビピットコム、中国における法人向け位置情報サービス
「位置情報サービス DP2 for China」を業界に先駆けて、提供開始

中国電信(チャイナテレコム)対応GPSモバイルを使い、日系企業や地元企業に
物流やメンテナンス、営業支援に役立つサービスを提供

地図情報関連ビジネスのベンチャー企業である「ナビピットコム株式会社」(本社:東京都港区芝5-30-9 藤ビル8階、代表取締役社長:篠崎 登、資本金:5,725万円:以下ナビピットコム)は、中国における100%子会社である「ナビピットコム上海(中国名:納威辟(上海)軟件開發有限公司、英文名:Navi-p.com Shanghai Co.,Ltd.) 総経理:結川 昌憲」を通じて、中国の大手通信キャリアである「中国電信(チャイナテレコム)」対応の携帯電話を使い、中国における初の携帯電話利用の法人向け位置情報サービス「位置情報サービス DP2 for China」を6月1日より提供いたします。

「位置情報サービス DP2 for China」は、GPS機能搭載の携帯電話を活用して、現場メンバーの位置情報やステータスを確認できる機能を搭載したマルチキャリア対応の法人向け位置情報サービスです。現在、3G対応の携帯電話普及が伸びている中国における物流や家電、OA機器、建築設備等の保守・メンテナンス支援サービスとして、日系企業のみならず、中国企業からも大きな期待が寄せられています。

さらに、日本と中国をつなぐ物流においては、ナビピットコムの国内サービス「位置情報ASPサービス DP2」と連携することで、2国間の物流状況を、日中それぞれのGPS機能付携帯電話を用いて把握できるグローバル・ロジスティック体制が実現します。

「位置情報サービス DP2 for China」は本来マルチキャリア対応サービスを目差し、中国電信(チャイナテレコム)だけでなく、今後、中国移動(チャイナモバイル)や中国聯通(チャイナユニコム)への対応も進めて参ります。さらに、パッケージ販売だけでなく、SaaS(Software as a Service:サービス型ソフトウェア)といったクラウドサービスでの提供を視野に入れた事業展開を進めて参る所存です。

同サービスの価格は、パッケージ販売型(エンドユーザにてサーバ機器や携帯電話を準備)として、日本円換算で300万円～(税込)を目安としています。(※GPS携帯電話の端末代金・通信料等は別費用となります)。本サービスにおけるナビピットコムの売上目標は、各業種向けカスタマイズによるソリューション開発も含めて、初年度日本円換算1億円をめざしております。

■3G対応中国携帯電話の普及を契機に、

液晶TVやエアコン等の家電メンテナンス需要や、煩雑な物流事情に対応

中国における液晶TVやエアコン等の家電需要に合わせた保守・メンテナンス業務が激増しており、各社はその需要に対応するために、効率の良い、人員体制を引かざるを得ない状況です。また、デパート・スーパー・コンビニエンスストア等への食品や飲料の運搬業務についても、多店舗が進み、混載体制の中で、いかに効率よく、物流業務を行うかが求められています。従来、業務車両に付いたカーナビを用いたシステム構築を行い、保守・メンテナンス支援を行っていましたが、これでは初期構築費用も嵩み、さらに、車両下車後の動きも掴み難い嫌いがあります。

現在、北京オリンピックや上海万博開催を契機として、中国の携帯電話が2.5Gから3G対応への移行が進み、3G対応の携帯電話が急激に増加しており、GPS機能付携帯電話が登場しました。そこで、今回のGPS携帯電話を用いた「位置情報サービス DP2 for China」を用いれば、初期投資も格安に抑えられ、さらにランニングコストも日々の携帯電話通信費でほぼまかなえるということで、約1/10の費用で、モバイル利用により、さらにきめ細かい業務対応もできるようになりました。

■日中をつなぐ「グローバル・ロジスティック」体制実現に貢献

現在、日本国内でサービス提供されています、ナビピドットコムが法人向けサービス「位置情報ASPサービスDP2」と連携することで、日本国内の物流状況と、中国に移動した際の物流状況を把握できるという「グローバル・ロジスティック」支援が、日中それぞれのGPS携帯電話を用意するだけで可能となります。中国から発送された部品や製品を日本まで追跡することもできることで、従来のような高額なシステムを組むことなく、GPS携帯利用のシステム活用により、コスト削減が図れます。また、ナビピドットコムの位置情報サービスは、画像を利用した日報サービスや移動経歴の分析機能も搭載されていますので、より効率的な動きや今後の物流計画に役立つ情報を構築することができます。

■SaaS化、マルチキャリア対応等、今後の拡張性に期待が寄せられる

「位置情報サービス DP2 for China」は本来マルチキャリア対応サービスを目差し、今後、中国电信(チャイナテレコム)だけでなく、中国移动(チャイナモバイル)や中国聯通(チャイナユニコム)への対応も進めて参ります。対応キャリアが広がることで、さらに至便性が高まり、携帯電話を用いた位置情報サービスを組み込んだ業務アプリケーションへ開発に関する中国国内の各Sierとの連携が進むと考えております。

発売当初は、パッケージとしての提供になりますが、今後、中国国内のISPやデータセンターとの連携により、SaaS(Software as a Service)といったクラウドサービスでの提供を視野に入れた事業展開を進めて参ります。

■GPS機能付携帯電話を用いて、位置情報を基にした日常業務支援を実現

「位置情報サービス DP2 for China」は、GPS機能付携帯電話を持つメンバーの位置情報をインターネットに接続したPCや携帯電話で閲覧できるサービスで、画像付き簡易日報作成機能が標準装備され、従来のメンバー位置をパソコン上で確認しながらの指示出しのみならず、各メンバーからの情報収集に役立ちます。特に、マネージャーやグループリーダー自らが「プレイングマネージャー」として、現場に足を運び、指示出しする場合、メンバーの現在位置の確認やステータスの確認(「休職中」「移動中」「休憩中」といった状態の把握)ができ、現場作業の効率化を高まります。

■「位置情報 DP2 for China」の主な機能

1) 画像付き簡易日報作成機能

画像を付けた日報が携帯端末から作成でき、携帯端末側からのステータス送信時に、訪問先・コメント・画像が送信可能です。管理PC側から「誰が・どこで・何をしたか」を一覧で表示することができ、さらに細かい行動分析ができます。

2) 携帯端末側、PC側どちらからでも設定が行なえる自動定期位置配信

アプリを起動させておくだけで定期的に行なえる自動定期位置配信機能を装備。定期送信間隔の変更を携帯端末側・PC側のどちらかで行なうか選択が可能です。携帯端末を持つメンバーに設定を変えられて定期的に位置が上がってこないという状況を防ぐことが可能です。

3) 個別の履歴表示における担当先スポットのみの表示

担当スポットのみの表示により、メンバー一人ひとりの動向がひとめでわかります。

4) 13ヶ月分※の履歴データ保存により、強力な行動分析が可能。

13ヶ月分、すなわち昨年の同月までの活動状況が履歴として蓄積されているため、業務分析への応用が可能です。行動範囲のビジュアル表示や多彩なグラフによる行動分析機能が搭載されています。

※13ヶ月データ保持は、30分間隔程度での位置情報データ取得利用を想定しています。

5) セキュリティへの配慮

GPS携帯電話の位置測位には専用URL、ID、パスワードが必要となるなど、セキュリティにも配慮しております。

6) 顧客情報(スポット情報)の登録機能

顧客位置情報を地図上に同時に表示することで、緊急コール時でのフィールドワーカーの顧客対応力を高めることができます。

7) グループ別管理機能(階層設定機能)

この機能により、エリア別、拠点別などの階層別管理が可能となります。

8) ステータス情報の送信

「乗車」「空車」「積荷」「空荷」「移動中」「商談中」「事務処理中」などのステータス情報(10個まで登録可能)や、携帯側ユーザーが入力したメモ情報も、位置情報配信サービス専用サイトに随時送信でき、それらの情報を本部側のパソコン画面から閲覧できます。それぞれのステータスを携帯電話の数字で登録することで、最低2つのボタン(例えば、「乗車」=1、「空車」=2)で、迅速な状況連絡ができます。さらに、ステータス情報の統計をとって、メンバー別の時間分析グラフ(※)を表示することもできます。

※ステータス別の行動時間を「時間(分単位)グラフ」「構成比グラフ」「選択したメンバー単位のグラフ」「選択したメンバーの合計グラフ」などのメニューにてグラフ表示します。

9) 分析機能

エリア配送業や営業マンの担当エリア分析や、エリア重複による非効率部分の洗い出しが可能です。また、時間分析により、配送効率・営業効率分析も可能となります。

・履歴分析 ・時間分析

10) CSV(Comma Separated Values)出力機能

蓄積された、緯度経度付きデータをCSV形式で取り出し可能ですので、二次加工による、データ分析が容易にできます。

■GPS携帯電話利用の位置情報サービスの中国での普及を促進

今後、ナビピドットコム株式会社及び、「ナビピドットコム上海(中国名:納威辟(上海)軟件開發有限公司、英文名:Navi-p.com Shanghai Co.,Ltd.)」では、これまでのGPS付き携帯電話を利用した業務向けモバイルシステム開発及びASPサービスカスタマイズの実績・ノウハウをベースに、「位置情報サービス DP2 for China」を利用した、各業種業態に最適なシステムインテグレーション(物流業向け、保守・メンテナンス業向け、保守員向け、旅行業向け、各種営業支援向けなど)としても、このサービスを応用展開して参ります。

以上、ナビピドットコムの中国における携帯電話利用の法人向け位置情報サービス「位置情報サービス DP2 for China」につきまして、ご紹介、ご取材を検討いただきますよう、お願い申し上げます。

「位置情報サービス DP2 for China」の動作環境

本システムは以下の環境にて動作可能です。

●携帯電話

- ・中国電信GPS機能付き携帯電話(他通信会社携帯電話は順次対応予定)

●パソコン

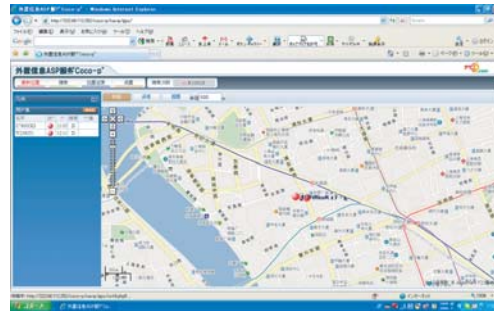
- ・OS : 日本語版 Windows 7・Windows Vista・Windows XP SP2、SP3
 - ・ブラウザ : Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)以上
- ※ インターネットに接続できる環境が必要です。

「位置情報サービス DP2 for China」画面イメージ

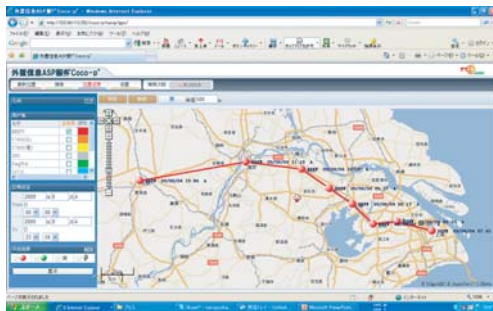
※各画像は開発中の画面です。



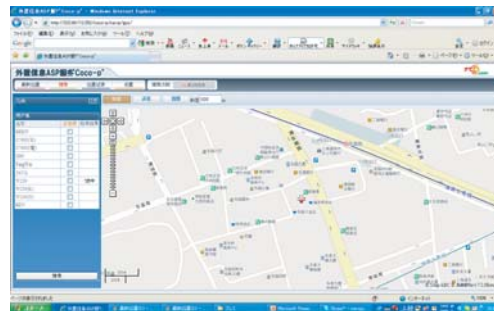
設定画面



最新位置画面



位置履歴画面



個別検索画面



使用例

ナビピドットコム株式会社について

ナビピドットコム株式会社は、地図情報&位置情報関連システムをコアとした企業向けソリューション、通信キャリア各社への公式コンテンツ提供、各種ASPサービスの提供等を行っているパイオニア株式会社からのスピンアウトベンチャー企業です。パイオニア株式会社にて行っていた地図コンテンツ事業をスピンアウト、2002年9月に独立しました。現在は消費者向けに、NTTドコモ、au(KDDI)、SoftBankなど携帯電話会社向けに、児童の位置情報サービス(ここっぴ)といった公式コンテンツを提供、またビジネス向けには、位置情報サービス(DP2)をクラウドサービスにて提供すると共に、モバイル全般のシステム開発・運用についても、多くの企業への導入実績と高い支持・評価を頂戴しております。

また国内で培ったWeb/モバイル開発ノウハウをオフショア開発や発展著しい中国市場で展開していくことも視野にいれて、2008/4月に中国(上海)に現地法人(納威辟(上海)軟件開發有限公司)を設立し、中国国内市場に向けて、位置情報システム及び携帯ソリューションの開発/拡販を進めております。

※ナビピドットコム、navi-p.com、納威辟(上海)軟件開發、「位置情報サービス DP2 for China」は、ナビピドットコム株式会社の登録商標または商標です。

※Windows 7・Windows Vista・Windows XP、Microsoft Internet Explorer 等は、マイクロソフト社の登録商標または商標です。

※「MapABC©AutoNavi」は、高德軟件有限公司登録商標または商標です。

※その他記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

* 報道関係お問い合わせ先 *

ナビピドットコム株式会社

URL : <http://www.navi-p.com/> 担当:結川(ゆいかわ)、篠崎(しのざき)
〒108-0014 東京都港区芝5-30-9 藤ビル8階
電話 : 03-5730-6631 Fax : 03-5730-6633

※お客様のお問合せは下記Eメールにて受け付けております。

E-mail : info@navi-p.com
URL : <http://www.navi-p.com/>